2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名［ 神戸大学附属中等教育学校 ］ 担当教諭名［ 岩見 理華・柴田 美帆子・高 順子 ］
（ Global Career Committee (GCC) ユネスコスクールアートマイルチーム 28名 ）
相手国・地域［ インドネシア ］
海外学校名［ SMP Islam Tugasku ］ 担当教諭名［ Putri Widyastuti / Cipta Mulia ］

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した実施教科・時間数	放課後等の課外活動	ランチミーティング，自己紹介動画制作,自己紹介カード制作，相手校とのテレビ会議,テーマ学習,構図の検討,壁画の制作	35

■作品に込めた想いについて教えてください。

題（テーマ）	歴史を通した開発と景観
メッセージ（相手と想いを合わせて世界に発信したいメッセージ）	日本もインドネシアも戦争を経験しましたが，経済，産業ともに発展している国です。一方で，守るべき美しい景観や古い建物もあります。「現代」と「伝統」が共存している様子を両国の花や人々とともに描きました。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・昨年度に引き続き，前年度参加者が活動をリードし，制作作業を円滑に進めることができた。 ・役割ごとにリーダーを決め，生徒主体で，ランチミーティング等を行って構図を決定したり，色付け作業を行うことができた。 ・自国・相手国の歴史や文化を理解する態度を育てることができ，英語によるコミュニケーションへの意欲も高めさせることができた。	・相手側の通信環境が悪く，Skype 以外の通信手段も検討する必要がある。 ・Skype でうまく伝わらなかったことは，後で文書で知らせるなど，学習を深めるためにテレビ会議後のフォローが必要であると感じた。 ・両国ともにフォーラムの活用が十分にできなかったので，協働学習の場としてスレッドの立て方を工夫したい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
相手国に伝えるために，自国の歴史や文化（建造物など）について知っておかなければならないという意識が強まった。また，英語によるコミュニケーション能力を向上させたいという意欲も高まった。構図決定会議（Skype）では，相手側の意見を尊重しながらゴールを達成することの大切さに気づいた。	相手側は「歴史」を本校は「開発と景観」を壁画のテーマとして提案していたが，話し合いの結果，「歴史を通した開発と景観」に決定した。日本，インドネシア両国ともに戦争を経て発展してきた歴史を持ち，互いに守っていくべき美しい景観があることを壁画に表現することができてよかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	ランチミーティングで活動について話し合い，役割を決定した。自己紹介カードを作成し，動画も撮影して相手校に送付した。相手校からフォーラムに写真の投稿があった。	動画撮影には iPad を使用した。友だち同士で練習をして，納得するまで撮影を繰り返すなど熱心に取り組んでいた。	昼休み 放課後 4
共有 テーマ学習	10月	Skype 会議を行い，互いの国の文化について紹介した。相手校からいくつか壁画の構図について提案があった。	日本文化を紹介するのに，書道を実演するなど見せ方を工夫していた。練習にも熱心に参加していた。	放課後 2
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	インドネシアから提案された構図をもとに本校デザインチームが4回に及ぶランチミーティングを経て2つのパターンを作成し，Skype 会議で合意を得て構図を決定した。	相手側の意見も尊重しながら，壁画を決定していくプロセスを経験して，文化の異なる相手と協調することの大切さを改めて認識することができた。	昼休み 放課後 5
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	プロジェクターを使用して下絵を描き，美術科教員の指導を受けながら色付け作業を行い，フォーラムに写真を投稿した。相手校からは制作の様子の写真とビデオをフォーラムに投稿してもらった。	昨年度参加した4年生をリーダーとして制作を進め，学年を越えた協力関係を築くことができた。	昼休み 放課後 22
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	本校の「授業研究会」において，代表生徒がアートマイルの取組についてポスター発表を行った。相手校から壁画とともにメッセージカードを送付してもらった。Skype 会議で壁画に描かれたものについて説明を受けた。会議後アンケート（感想文含む）を実施し，写真撮影を行った。4 月初旬に全校集会で発表する。	同じものを描いても国によって絵の描き方や色の塗り方など，表現のしかたが異なることを理解することができた。相手国が写真などを見せて説明してくれたので，描かれている建物などについて知ることができた。本校側が描いたもの（花や建物，人々）に合わせてインドネシアも同様のものを描いてくれたので，両国の共通点や相違点について気づくことができた。	放課後 全校集会 （予定） 2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	Skype 会議で発表する日本文化の内容について熱心に調べたり書道の実演等，見せ方に工夫を凝らしていた。
異文化を理解する力	4	相手国が壁画に描いてくれたものについて，Skype で説明してくれているときに通信環境が悪くても熱心に耳を傾けていた。
情報活用能力 （収集・まとめ・発信）	3	課題研究を行っているため日頃より情報機器の使用には慣れており，本活動を行ったから情報活用能力がついたとはいえない。
コミュニケーション力 （双方向・共感・英語）	5	今回は相手側の通信環境が悪く，音声がとだえたり，画像が乱れたりしたが，うまく伝わるように話すスピードや補助手段を使うなど工夫した。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	3	共通テーマは「歴史を通した開発と景観」であったが，相手国の発展の経緯や文化について，もっと学びを深められたらよかった。
主体的に考え行動する力	5	デザインチーム等，役割を決めて生徒が主体的に打ち合わせの会議を運営したり，作業を進めたりすることができた。
他者と協働する力 （学級内・海外の相手）	5	連絡を取り合うことや，打ち合わせの会議，壁画制作作業を通して学年を越えた協力関係を築くことができた。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	5	相手側の意見も尊重しながら，共通テーマに沿うようなデザインを一生懸命考えていた。Skype 会議で丁寧に説明し合意を得ることができた。
評価する力 （作品の鑑賞・学習の自己評価）	5	作品の鑑賞を通して，相手国の文化について理解することができた。感想文からは自分の活動をしっかりふりかえった様子がみてとれた。